



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴本 守人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 熊倉 真由美 TEL 03-3471-0011
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|-------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期第3四半期 | 15,248 | 1.5 | 765 | △11.3 | 718 | △6.0 | 475 | △7.8 |
| 2025年3月期第3四半期 | 15,025 | 3.3 | 862 | 24.8 | 763 | 4.3 | 515 | 5.6 |

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 166百万円（△65.4%） 2025年3月期第3四半期 481百万円（△48.3%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期第3四半期 | 84.59 | 82.61 |
| 2025年3月期第3四半期 | 92.34 | 90.15 |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期第3四半期 | 24,084 | 11,822 | 48.4 | 2,067.64 |
| 2025年3月期 | 24,674 | 11,796 | 47.2 | 2,078.24 |

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 11,657百万円 2025年3月期 11,634百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | 31.00 | 31.00 |
| 2026年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2026年3月期（予想） | | | | 27.00 | 27.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,000 | 4.4 | 950 | △8.2 | 730 | △9.0 | 490 | 4.5 | 87.70 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期3Q | 6,006,373株 | 2025年3月期 | 6,006,373株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期3Q | 368,093株 | 2025年3月期 | 408,093株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年3月期3Q | 5,622,280株 | 2025年3月期3Q | 5,584,194株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用の改善や賃金の上昇を背景に、緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、国内の物価上昇、対中関係の緊迫化、米国の通商政策など先行き不透明な状況が継続しております。

物流業界におきましては、国際貨物は、自動車部品の海上輸出が減少傾向にある一方、急速に拡大するAI市場を背景に、半導体関連の航空輸出は堅調に推移いたしました。国内貨物は、堅調な個人消費を背景に消費者関連貨物が増加したものの、生産関連貨物及び建設関連貨物の不調が影響し、低調な推移となりました。

このような事業環境の中、当グループは、中・長期的ビジョン「オペレーションからソリューションへ」のもと、2023年7月に策定した3ヵ年の中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）において、顧客の真のニーズを引き出し、生産効率向上に寄与するソリューションの実現に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、米国子会社における工作機械の取扱いが減少したものの、日本国内での工作機械及び電力変換装置の取扱いが好調に推移し、増加いたしました。

営業利益につきましては、主に関税等の影響を受け米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したことにより減少いたしました。

なお、経常利益につきましては、成田などの新倉庫建設に係る借入の増加に伴い支払利息1億20百万円を計上した影響により減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高152億48百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益7億65百万円（前年同期比11.3%減）、経常利益7億18百万円（前年同期比6.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億75百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

米国子会社における工作機械の取扱いが減少したものの、日本国内での工作機械及び電力変換装置の取扱いが好調に推移したため、売上高はおおむね横ばいとなりました。

セグメント利益につきましては、関税等の影響により米国子会社における工作機械の取扱いが低調に推移したため、減益となりました。

この結果、当該部門の業績は、売上高106億65百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益12億11百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

② 運輸事業部門

医療機器の取扱いが軟調に推移したことにより売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、輸送費の値上がり分について顧客への価格転嫁を進めたことにより増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高20億64百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益2億51百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

③ 倉庫事業部門

電力変換装置の取扱いが増加したことに加え、倉庫集約により生じた空き倉庫スペースへの客付けが進んだことにより売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高23億39百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益3億81百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が低下したことにより売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億78百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益49百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産240億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ、5億89百万円減少いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、66億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億65百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少15億53百万円、その他の減少3億62百万円によるものであります。

固定資産につきましては、174億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億75百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の増加11億39百万円、リース資産の減少1億93百万円、建設仮勘定の増加4億41百万円、無形固定資産において、ソフトウェアの減少49百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加2億20百万円、繰延税金資産の減少1億99百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、122億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億15百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、54億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億82百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少1億64百万円、リース債務の減少1億76百万円、未払法人税等の減少1億84百万円、賞与引当金の減少3億8百万円によるものであります。

固定負債につきましては、68億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億67百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加6億68百万円、リース債務の減少30百万円、退職給付に係る負債の増加22百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、118億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加3億2百万円、自己株式の減少22百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億52百万円、為替換算調整勘定の減少4億62百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.2%から48.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,803,639 | 2,249,870 |
| 受取手形 | 11,658 | 5,856 |
| 売掛金 | 3,372,307 | 3,435,190 |
| 電子記録債権 | 177,254 | 176,733 |
| 原材料及び貯蔵品 | 402,324 | 397,192 |
| その他 | 753,469 | 391,003 |
| 貸倒引当金 | △5,100 | △5,300 |
| 流動資産合計 | 8,515,553 | 6,650,546 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 (純額) | 8,596,656 | 9,736,150 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 401,714 | 351,093 |
| 土地 | 3,175,336 | 3,120,301 |
| リース資産 (純額) | 591,692 | 397,921 |
| 建設仮勘定 | 772,303 | 1,214,166 |
| その他 (純額) | 42,858 | 81,758 |
| 有形固定資産合計 | 13,580,561 | 14,901,391 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 190,229 | 140,978 |
| その他 | 533 | 457 |
| 無形固定資産合計 | 190,763 | 141,436 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 516,829 | 737,128 |
| 繰延税金資産 | 844,586 | 644,607 |
| その他 | 1,106,573 | 1,088,184 |
| 貸倒引当金 | △80,859 | △78,507 |
| 投資その他の資産合計 | 2,387,129 | 2,391,412 |
| 固定資産合計 | 16,158,455 | 17,434,240 |
| 資産合計 | 24,674,008 | 24,084,786 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 737,782 | 670,314 |
| 短期借入金 | 3,366,154 | 3,201,533 |
| リース債務 | 347,130 | 170,666 |
| 未払法人税等 | 201,019 | 16,056 |
| 賞与引当金 | 521,274 | 212,310 |
| その他 | 1,539,850 | 1,159,390 |
| 流動負債合計 | 6,713,211 | 5,430,272 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,102,273 | 4,770,545 |
| リース債務 | 162,663 | 131,821 |
| 退職給付に係る負債 | 802,855 | 825,730 |
| 資産除去債務 | 498,725 | 506,416 |
| デリバティブ債務 | 52,920 | 51,363 |
| その他 | 544,377 | 545,806 |
| 固定負債合計 | 6,163,815 | 6,831,683 |
| 負債合計 | 12,877,026 | 12,261,955 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,523,866 | 2,523,866 |
| 資本剰余金 | 2,477,567 | 2,487,291 |
| 利益剰余金 | 5,653,395 | 5,955,455 |
| 自己株式 | △231,349 | △208,673 |
| 株主資本合計 | 10,423,479 | 10,757,940 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 263,373 | 415,733 |
| 為替換算調整勘定 | 899,090 | 436,902 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 48,634 | 47,358 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,211,098 | 899,994 |
| 新株予約権 | 47,277 | 47,277 |
| 非支配株主持分 | 115,126 | 117,619 |
| 純資産合計 | 11,796,981 | 11,822,831 |
| 負債純資産合計 | 24,674,008 | 24,084,786 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 15,025,280 | 15,248,678 |
| 売上原価 | 11,691,570 | 12,032,355 |
| 売上総利益 | 3,333,709 | 3,216,323 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 1,141,520 | 1,136,273 |
| 一般管理費 | 1,329,211 | 1,314,882 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,470,732 | 2,451,156 |
| 営業利益 | 862,977 | 765,166 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13,649 | 27,294 |
| 受取配当金 | 13,037 | 16,217 |
| 受取保険金 | 18,136 | 8,408 |
| 為替差益 | 61,575 | 22,936 |
| 損害賠償金収入 | 35,885 | — |
| デリバティブ評価益 | — | 61,571 |
| その他 | 29,711 | 13,246 |
| 営業外収益合計 | 171,997 | 149,674 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 55,981 | 120,796 |
| シンジケートローン手数料 | 749 | 5,841 |
| デリバティブ評価損 | 34,024 | 60,678 |
| 営業外業務委託料 | 101,505 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 75,957 | △2,000 |
| その他 | 2,879 | 11,492 |
| 営業外費用合計 | 271,099 | 196,808 |
| 経常利益 | 763,875 | 718,033 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 71 | — |
| 特別利益合計 | 71 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 1,701 |
| 特別損失合計 | — | 1,701 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 763,947 | 716,331 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 229,882 | 99,941 |
| 法人税等調整額 | 16,975 | 138,289 |
| 法人税等合計 | 246,858 | 238,231 |
| 四半期純利益 | 517,089 | 478,100 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,470 | 2,493 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 515,619 | 475,607 |

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 517,089 | 478,100 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,663 | 152,360 |
| 為替換算調整勘定 | △45,109 | △462,188 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,337 | △1,276 |
| その他の包括利益合計 | △35,108 | △311,103 |
| 四半期包括利益 | 481,980 | 166,996 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 480,510 | 164,503 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,470 | 2,493 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 621,800千円 | 646,692千円 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|---------|------------|------------|
| | 梱包事業 | 運輸事業 | 倉庫事業 | 賃貸ビル事業 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 10,595,955 | 2,152,214 | 2,086,310 | 190,800 | 15,025,280 | 15,025,280 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 710 | 4,564 | — | — | 5,274 | 5,274 |
| 計 | 10,596,666 | 2,156,778 | 2,086,310 | 190,800 | 15,030,555 | 15,030,555 |
| セグメント利益 | 1,361,442 | 208,368 | 312,678 | 62,755 | 1,945,244 | 1,945,244 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------------|
| 報告セグメント計 | 1,945,244 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用（注） | △1,082,267 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 862,977 |

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|---------|------------|------------|
| | 梱包事業 | 運輸事業 | 倉庫事業 | 賃貸ビル事業 | 計 | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 10,665,689 | 2,064,876 | 2,339,342 | 178,770 | 15,248,678 | 15,248,678 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 2,774 | — | — | 2,774 | 2,774 |
| 計 | 10,665,689 | 2,067,651 | 2,339,342 | 178,770 | 15,251,453 | 15,251,453 |
| セグメント利益 | 1,211,670 | 251,915 | 381,148 | 49,050 | 1,893,784 | 1,893,784 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------------|
| 報告セグメント計 | 1,893,784 |
| セグメント間取引消去 | — |
| 全社費用（注） | △1,128,617 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 765,166 |

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（多額な資金の借入）

当社は、取引金融機関との契約に基づき、以下のとおり資金の借入を実行いたしました。

- (1) 契約形態 : コミット型タームローン
- (2) 資金用途 : 成田新倉庫(仮称)建設資金として
- (3) 借入先 : 株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、
株式会社三十三銀行、三井住友信託銀行株式会社
- (4) 借入金額 : 2,070百万円
- (5) 借入金利 : 基準金利+スプレッド
- (6) 借入実行日 : 2026年1月30日
- (7) 弁済期限 : 2041年7月31日
- (8) 担保の内容 : 根抵当権の担保資産として土地、建物及び建物附属設備を提供
- (9) 財務制限条項 :
 - ・ 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額を、2024年3月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額、又は直近の事業年度末日における連結貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額のうち、いずれか高いほうの金額以上に維持すること。
 - ・ 2025年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における連結損益計算書に記載される経常損益を2回連続して損失としないこと。